

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212V204	地域生活支援方法論Ⅱ (Community Health Nursing Practice Ⅱ)	専門教育科目 地域看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	2	前期	水・4 木・3	後藤奈穂・金崎理子・箕河原靖子 内線 : 5092 E-mail : goto-naho@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

個人・家族・集団への支援活動との関連において、地域社会で生活を営む対象の健康課題を支援するための基本的な理念と知識、人々の健康行動特性に応じた援助技術について学ぶ。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 看護活動で出会う家族・集団・地域の特性を説明する。	○						
2. 保健行動を理解するための理論およびモデルについて説明する。	○						
3. 人々の健康特性に応じた援助技術(健康相談・健康教育・住民グループ支援)について説明する。	○						
4. 地区活動の展開について説明する。	○						

【授業の内容】

1・2	保健行動を理解するための理論およびモデル (自己効力感・保健信念モデル・行動変化のステージモデル等)
3・4	健康診査
5・6	健康教育
7	住民グループ支援
8～10	地区活動の展開(地域診断・地区活動計画の立案・実施・評価)
11	公衆衛生看護学における研究

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A:知識の定着・確認	○	授業終了時のカード記入	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を使って事前に各自が学習内容の概要を確認し疑問点を整理しておく、疑問を出し合い討議する。 動画や事例を用い、イメージを拓げる
B:意見の表現・交換	○	グループ検討	
C:応用志向	○	グループ間討議・発表	
D:知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	教科書等を用い次回の学習内容について予習し、概要と疑問点を予習シートに整理し講義に臨む (16h)
事後学修	配布資料・教科書等を用い授業で学習した内容を復習する (3h)

【教科書】

宮崎美砂子他編：最新公衆衛生看護学 第3版 総論 2023年版. 日本看護協会出版会, 2023
 宮崎美砂子他編：最新公衆衛生看護学 第3版 各論1 2024年版. 日本看護協会出版会, 2024
 厚生労働統計協会, 国民衛生の動向, 2022/2023
 松本千明：医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎, 医歯薬出版, 2002.

【参考書】

野川道子編：看護実践に活かす中範囲理論 第2版, メヂカルフレンド社, 2016.

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2
予習シート・事例演習の取り組み状況	20%	○	○
期末試験	80%	○	○

【注意事項】

【備考】

教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	保健師（都道府県・市町村・医療機関）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	人々が自らの健康を守る行動について実務経験を交えて理解しやすいよう講義する。	
授業形態	面接講義	